

L'aile d'Howl



今年も1年ありがとうございました！
来年は3月に全国高校選抜大会が
花巻で開催されるよ！

本年もライル・ドウルをご愛顧いただき
ありがとうございました。

【ライル・ドウル：ホウルの翼(仏語)】

2011年12月号



1

氷見市での全国中学生大会の切符をつかんだのは・・・

11月19～20日、花巻市総合体育館及び花巻中学校体育館を会場に、第29回岩手県中学校新人大会が開催されました。中体連の大会は盛岡市で行われることが多いのですが、今回はめずらしく花巻市での開催となり、地元・花巻中、花巻北中の上位入賞に期待が高まりました。



さて、ホームコートである花巻中体育館で対戦を迎えた花巻中は、男女とも緒戦を突破し、まずはベスト8入りを決めます。男子は続いて、上田中と対戦します。試合開始直後はなかなか波に乗れませんが、徐々に守って速攻の形が決まりだし、前半を5点差で折り返すと後半もそのペースを維持し、27-16で上田中を下してベスト4に進出しました。女子は準々決勝で見前中と対戦しますが、盛岡地区大会の女王の壁は厚く、20-11で敗れてしまいました。なお、1年生メンバーが主力の花巻北中は、男女とも初戦敗退という結果でした。花巻クラブジュニアの卒団生たちに、今後の頑張りを期待したいと思います！

さて、翌日の準決勝、男子・花巻中は、県中総体の覇者・矢巾中との顔合わせとなりました。スピードそしてフィジカル的にも勝る矢巾中に前半は押され気味でしたが、徐々にエンジンがかかった花巻中は、前半終了と同時に菅原颯選手のステップシュートが決まり、7-7の同点に追いつきます。このまま行くかと思われた後半はお互いに意地を見せ、一進一退の攻防が続きます。終盤、シュートの確実性で上回った矢巾中がリードし、21-18でゲームセット。非常に惜しい展開でしたが、まだまだ勝負どころでの弱さを反省する花巻中でした。

接戦で非常に盛り上がった大会は、盛岡地区大会優勝の男女・見前中がともに決勝に進み、男子は矢巾中、女子は矢巾北中の矢巾勢が迎え撃つ構図で終局を迎えました。男子決勝は、準決勝に続き、取ったら取り返す展開の連続で、最後までどちらに転ぶかわからない模様でした



が、最後は速攻のスピードで勝った見前中が初優勝を飾りました。また、女子は、序盤から見前中が一步リードで終始優位を保ち、29-24で矢巾北中を破り、男子に続く初優勝に輝きました。堂々の男女アベック優勝を果たした見前中は、揃って3月に行われる春の全国中学生大会(富山県氷見市)への出場権を得ました。(うーん、寒ブリ食べたかったなあ)

また、今大会の優秀選手として、花巻中からはキャプテンの中村惇平選手、1年生で小柄ながらコート縦横無尽に走った川野誉博選手、そして女子左サイドで懸命なプレーが光った宍戸奏子選手が選ばれました。冬の大崎カップに向け、今後一層の上達に期待したいと思います。



2011年の締めくくりは県総合選手権!



12月9日～11日の3日間、花巻市総合体育館にて、今年の締めくくりとなる第54回岩手県ハンドボール総合選手権大会が開催されました。一般の社会人リーグ上位チーム、高校ベスト8に加え、12月末に名古屋での本選を控えたJOC岩手県選抜チームが出場しました。そのJOCチーム男子は2日目の第一試合、社会人リーグ1部の花巻クラブと対戦。全国大会を控えた中学生に怪我をさせてはいけないという気遣い、いやそれとも実力か、上背に勝るJOC選抜が積極的に攻め、前半リードで折り返します。後半中盤に差し掛かり花巻クラブが同点に追いつき、試合が徐々に面白い展開に。残り数秒、花巻クラブが1点リードした場面で痛恨のミス。ここから速攻を決めたJOCが同点に追いつき、今大会ルールのため即座に7Mコンテストへ。会場全体が見つめる中、10回のシュートで勝負が決まらず、ついにサドンデスへ。この場面

で落ち着いてシュートを決めた花巻クラブが大人の意地を見せ、3回戦へと駒を進めました。一般チーム相手に善戦したJOCチームに、会場からは惜しみない拍手が送られました。一方女子JOCチームは、岩手桐花クラブとの初戦で勝利しますが、続く富士大戦では先輩格を見せ付けられ、ベスト4進出はなりません。いずれも、一般チーム相手に善戦、勝利したことは自信につながるのではないのでしょうか。本選では是非頑張ってきて欲しいです。

さて、男子の部では、岩手教員クラブ、不来方クラブ、盛龍クラブ、富士大学がベスト4に進出。女子の部では、富士大学、白梅三英英会、盛岡南高校、そして不来方高校が最終日に残りました。

迎えた決勝戦、男子の部は岩手教員クラブと不来方クラブという、ほぼ例年どおりの組み合わせとなりました。試合開始後から岩手教員クラブがリードを奪います。前半を5点差で折り返すとその後もリードを保ち、2年ぶり24回目の優勝を果たしました。

女子の部では、白梅三英英会と富士大学が決勝戦で対決しました。経験値で勝る白梅ですが、若さと速さが武器の富士大学に序盤リードを許すと、その後もコート縦横無尽に走った富士大学が27-18で勝利。こちらも2年ぶりとなる優勝を飾りました。



なお、同じく日曜日に開催された小学生の部では、男子の部はリトルハンド、女子の部は花巻クラブジュニア、そしてU-10の部は矢巾フェニックスと、各少年団がそれぞれの部門で優勝を飾るという結果になりました。試合内容も徐々にレベルが高くなっており、点差はあるものの実力的にはほぼ拮抗した様子になっています。2月に湯沢で開催される東北小学生大会では上位進出できるでしょうか。子どもたちの頑張りに期待したいと思います!



今年も1年ありがとうございました!
2012年もハンドを熱く伝えていきます☆

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2011年12月号
2011年12月25日 発行

発行:花巻市ハンドボール協会